

海洋性ある観光事業を実施

海岸地域の観光開発

問 横芝の貴重な観光資源として九十九里浜があるが、他の町村と比べたとき、横芝の観光対策の立ち遅れが目につく。海のこともの国“の入場者数を見ても、開園当時（昭和47年）の28%（平成3年）まで落ち込み、非常に残念である。

答 「これからの我がまちを語る会」でも、若い方から、目的意識をもった観光ゾーンをつくったかどうかという提言をいただいた。町としては、①平成7年度の完成を目指す「海岸公園」

②水辺空間を整備する「栗山川ふるさと川づくり事業」

③横芝海のこともの国

④保養センターの跡地利用

⑤栗山川漁港

など、周辺地域で計画されて

いる各種の事業と一体化した、海洋性のある観光事業を実施していきたいと思う。

計画的な土地利用

問 まちの活性化をすすめるためには、今後の土地利用計画がきちんと定められたものでなければならぬ。

答 ①町が打ち出したJ R横芝駅北側の開発に関連し、企業の移転はどうなっているか。移転跡地の利用計画は。②役場南側周辺を開発する計画はあるか。

問 ①駅北側には、2つのコンクリート製品工場が、長い歴史をもって操業しており、企業の協力なくして「開発」は考えられない。幸いにして、このうち1社は、大総（中白）地区に土地が確保でき、移転することがほぼ決まっている。また、もう1社についても、企業の理解が得られ、移転する方向で、現在、用地の確保に努めていただいている。移

転についての具体的な時期は不透明な段階だが、移転後の開発にあたっては、駅前商店街とともに、横芝の中心地にふさわしい商業を中心としたものにした。

②役場南側の地域は、将来、市街地としての発展性を秘めていると思うが、半面、優良農地でもある。都市計画法に基づく用途地域の設定（住宅地域・商業地域・工業地域など）の際に、関係者と話し合ったうえで、今後の方針を決めた。

庁舎建設と中学校移転

問 手狭になった役場庁舎の建設計画と横芝中学校の移転問題は、以前から論議になっ



J R横芝駅北側の開発構想は商業を中心としたもの

ている。土地取り引きの減少により、地価が抑制されている今こそ、早く結論を出す時機ではないか。また、土地の先行取得に対応できるよう、土地開発公社を設立すべきだ。町の考えは。

答 役場庁舎と中学校の移転は、町にとって大きな課題であり、さまざまな角度から検討する必要がある。移転を想定したときの用地や資金など数多い問題があるので、平成4

「これからの我がまちを語る会」の定期的開催

問 「開かれた町政」の一環として「これからの我がまちを語る会」が開催されたが、今後も定期的に開催する考えはあるか。また、改善点はなかったか。

答 初めての会合で慣れない



一年間を通じた観光開発が求められている海岸地域